



技術仕様

- [スイッチの仕様 \(1 ページ\)](#)
- [電力仕様 \(2 ページ\)](#)
- [SFP、SFP+、または QSFP+ トランシーバの仕様 \(4 ページ\)](#)

スイッチの仕様

次の表に、Cisco MDS 9220i スwitchの環境仕様を示します。

表 1: Cisco MDS 9220i スwitchの環境仕様

説明	仕様
温度、動作時	32 ~ 104 °F (0 ~ 40 °C)
温度、非動作時および保管時	-40 ~ 70°C (-40 ~ 158F)
湿度 (RH)、動作時 (結露しないこと)	10 ~ 90 %
湿度 (RH)、非動作時および保管時 (結露しないこと)	10 ~ 95 %
高度 (動作時)	-60 ~ 2000 m (-197 ~ 6500 フィート)

次の表に、Cisco MDS 9220i スwitchの物理的仕様を示します。

表 2: Cisco MDS 9220i スwitchの物理仕様

説明	仕様
寸法 (高さ X 幅 X 奥行)	4.36 x 43.94 x 51.07 cm (1.72 x 17.3 x 20.11 インチ) (PSU、ファンモジュールハンドル、および USB スティックを除く)
ラックスペース	シャーシには 1 RU (4.45 cm または 1.75 インチ) 必要

説明	仕様
重量	9.8 kg (21.61 ポンド) (2つの PSU と 4つのファンを含む) (光モジュールを除く)
エアフロー	<ul style="list-style-type: none"> • ポートの側の排気ファンを使用して背面から前面へ (ポートに向かって) • ポート側吸気ファンを使用して前面から背面へ (ポートに吸い込む) • 50 CFM (0.02 m³/s)、システムファンアセンブリ経由、25°C • 100 CFM (0.04 m³/s) 最大 <p>過熱を避けるために、壁とシャーシ排気口の間には最低 6.4 cm (2.5 インチ) の空間、2 台のシャーシ間には最低 15.2 cm (6 インチ) の水平距離を確保することを推奨します。</p>

電力仕様

一般的な電源仕様

次の表に、Cisco MDS 9220i スイッチの AC 入力電源の仕様の一覧を示しています。

AC 入力電源	仕様
AC 入力電圧 (500 W)	100 ~ 240 VAC
AC 入力電圧 (1200 W HVAC)	(100 ~ 240 VAC) または (200 ~ 277 VAC)
AC 入力電圧 (1200 W HVDC)	240 ~ 380 VDC
AC 入力周波数	公称 = 50 ~ 60 Hz
電源装置出力容量	<ul style="list-style-type: none"> • 500 W • 1200 W HVAC • 1200 W HVDC
電源装置の出力電圧	12 V +/- 5% 最大 54 A 12 V +/- 5% 最大 66.67 A
出力ホールドアップ時間	20 ミリ秒

電源要件仕様

次の表に、Cisco MDS 9220i スイッチの AC 入力電源の電力計算例を示します。

表 3: AC 入力電源の消費電力

電力モード	オプティクス	トラフィックレート	温度	電圧	PSU	ファンモジュール	AC 220 V の電源	AC 110 V の電源	HVDC による電源
標準	FC ポート X 6 および IPS ポート X 2	50 %	会議室 (Rm)	[Normal]	2	4	230 W	232 W	234 W
最大 40°C	FC X 12 ポートと IPS ポート X 4	100 %	40°C	標準	2	4	280 W	283 W	285 W

表 4: 電源ヒューズ情報

製品番号	PID	タイプ	ヒューズ定格 AMP	I2T	ヒューズ溶融時間
341-101232-01	DS-CAC-500W-I	タイムラグ	15 A	534	4 時間 (15A)、2 秒 (30 A)
341-101237-01	DS-CAC-500W-E			660	30 分@22.5 A、0.15 秒 @50 A

コンポーネントの所要電力と発熱量

設置場所に必要な空調要件を決定するときには、熱放散を考慮してください。Cisco MDS 9220i スイッチに関連する電力と発熱量は、次の考慮事項に応じて異なります。

- シャーシ外の環境 (温度)
- シャーシ内の温度

- シャーシのハードウェア コンポーネントの障害
- 平均スイッチング トラフィック レベル

次の表に、Cisco MDS 9220i スイッチのコンポーネントの所要電力と発熱量を示します。

表 5: Cisco MDS 9220i スイッチの所要電力と発熱量

モジュールの種類/ 製品番号	所要電力 (ワット)	発熱量 (BTU/Hr)	入力電流				
			85VAC (アンペア)	110VAC (アンペア)	220VAC (アンペア)	240VDC (アンペア)	380 VDC (アンペア)
Cisco MDS 9220i ファブリックスイッチ	最大 280	897	3.29	2.55	1.27	1.18	0.75

SFP、SFP+、または QSFP+ トランシーバの仕様

Cisco MDS 9220i スイッチは LC コネクタを備えた SFP、SFP+、または QSFP+ トランシーバおよびケーブルと互換性があります。各トランシーバは、ケーブルの反対側のトランシーバと波長が一致している必要があります。信頼性の高い通信を実現するために、ケーブルは所定のケーブル長を超えないようにしてください。

Cisco MDS 9220i スイッチでは Cisco SFP、SFP+、または QSFP+ トランシーバのみを使用してください。各 Cisco SFP、SFP+ または QSFP+ トランシーバには、その SFP、SFP+ または QSFP+ トランシーバがスイッチの要件を満たしているかどうかをスイッチで確認できるように、モデル情報がコード化されています。サポートされている SFP、SFP+ または QSFP+ トランシーバのリストについては、「[Cisco MDS 9000 シリーズ互換性マトリクス](#)」を参照してください。

Cisco MDS シリーズスイッチでは、純正の Cisco SFP+ トランシーバのみを使用してください。各 Cisco SFP+ トランシーバは、シリアル番号、ベンダー名、およびトランシーバがスイッチの要件を満たしていることを Cisco NX-OS が確認できるその他のパラメータでエンコードされます。不一致が見つかった場合、SFP+ は可能な場合は機能しますが、警告 syslog メッセージが生成されます。Cisco TAC は、シスコ以外の SFP+ トランシーバが装着されたスイッチポートをサポートしていません。

SFP、SFP+ または QSFP+ トランシーバの詳細については、「[Cisco MDS 9000 ファミリー プラガブル トランシーバ データ シート](#)」を参照してください。

安全性、規制、および標準への準拠については、[Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco MDS 9000 Family](#) を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。